

〈6月の主な予定〉 6/1(月)～短縮授業延長 考査終了まで職員室は立ち入り禁止

6月4日(金)	キャリアプランニング：【変更】「インターネットでつながる」チカラ
6月6日(日)	開校記念日(今年で開校14年目)
6月7日(月) ～11日(金)	ぜんきちゅうかんこうさ ※欠席理由を問わず、追考査はありません。体調は万全に。 <b>前期中間考査</b> ※当日は必ず身分証明書を持参しましょう。
6月14日(月)	LHR×1：学校祭準備① DORI-time×1：まちづくり探究④企画書作成
6月17日(木)	ドーリ・プレイス④(12:00～18:00@IF市民開放スペース)(予定)
6月18日(金)	キャリアプランニング：「アサーティブ」なチカラ
6月21日(月)	LHR×2：避難訓練・学校祭準備②
6月25日(金)	キャリアプランニング：「ありがとう」のチカラ
6月28日(月)	LHR×1：後期科目履修指導 DORI-time×1：まちづくり探究⑤企画書完成

※予告：7月5日(月)9・10校時と11・12校時が入替わります。予定を確認しましょう。

〈前期中間考査に向けて〉 困ったとき・迷ったときは考査心得を確認しましょう！

- ① とにかく考査を受けること。不安な科目も受ける。失敗を恐れずチャレンジしよう。
- ② きちんと準備すること。準備をした結果の方がとっても価値がある。繰り返し、準備しよう。
- ③ わからない部分は先生や友人に聞いて解決すること。困ったときはお互い様、助け合おう。
- ④ 試験時間の配分をよく考えて、できる問題を確実に解くこと。見直してケアレスミスを防ごう。
- ⑤ 最後まで諦めず、粘り強くやること。不正行為は絶対にしない！
- ⑥ 提出物(ファイルやノート、プリント)を忘れないこと。日頃の取り組みも評価の一部です。

〈保護者の皆さまへ〉

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

緊急事態宣言が延長となり、6月も引き続き感染症予防対策のため活動の制限が多くある状況です。

苦しい状況が続きますが、今後子どもたちとご家族の皆さま、そして私たち教職員の健康を大切に、共に学校生活を送っていきたいと思います。学校の状況をお伝えするにあたり、HPに加え、保護者メールも活用しています。今一度、保護者メールの内容をご確認いただければと思います。

来週から子どもたちは大通高校で初めて考査に取り組みます。学習の成果を十分に発揮するために、ご家庭でも引き続き、万全の状態で考査に臨めるよう健康管理のサポートをお願いいたします。なお、考査の時間割は通常の時間割とは異なります。登下校の時間について、お子様とご確認ください。

## 〈5月17日(月)まちづくり探究③〉

5月10日(月)から【まちづくり探究～桑園編～】が始まりました。17日(月)のまちづくり探究では「桑園交流ネットワーク」で、Youtube桑園チャンネルの仕掛け人の石塚祐江さん(動画出演)と事務局兼リポーターの寺坂崇さん(三部講演)のお二人から、桑園地区への熱い想いと、桑園チャンネルの企画書作成の考え方のポイント(やりたいこととやるべきことを重ねる)やレギュレーション(規則)など、短い時間でしたが貴重なお話しいただきました。その後はHR教室に戻り、企画書作成をスタート!高校生ならではの視点で、地域貢献に繋がる素敵なアイデアが出てくるのを楽しみにしています。

授業では企画書作成まで行い、キャリア探究の中で実際に動画の撮影を行う予定です。

後日案内となりますが、興味のある生徒はぜひエントリーして、アイデアを実現してみよう!



↑寺坂さんから説明を聴き、企画書作成のイメージを膨らませます

↑企画書作成ははじめました!

## 〈わたしの好きな本②〉: 3組担任 鈴木正人先生

沈黙/遠藤周作/新潮文庫



江戸時代、キリスト教が禁止されている日本でキリスト教の布教を試みようとして挫折した宣教師や潜伏キリシタンたちをめぐる物語です。『鬼滅の刃』の鬼たちにも救いはあるのだろうか?いやあって欲しいし、猗窩座のそばにきっとその人はいたのではないだろうか?悲劇的な背景をもつ鬼滅の鬼たちを心穏やかに天国へ送ってあげたくてこの本を紹介합니다。

この本はキリスト教のお話なのですが、全編を貫いているのは日本文化のいやらしさです。鉄の掟で命をも厭わないイエズス会宣教師が、なぜ棄教するに至ったのか?その歴史的真相は闇の中かもしれませんが、我々の求める一つの答えがこの本の中にはあると感じました。



# 〈5月24日(月) ESD 学習①「世界がもし100人の村だったら」廣井先生より〉

24日のESD学習(ESD=「持続可能な開発のための教育」)では青年海外協力隊としてウズベキスタンの観光専門学校に派遣された田中肇さん(午前部)、ブラジルの日本語学校に派遣された津田晴香さん(午後部)、スリランカの音楽教員養成学校に派遣された野々垣真実さん(夜間部)から国際支援に関する貴重な体験をお話していただきました。

現地で経験した生活や食事、衣装、言語、文化の違いなど多くのお話を聞かせていただき、それに加え、JICA(国際協力機構)が発展途上国に対してどのような国際協力を行っているか、お話していただきました。

最後に「世界がもし100人の村だったら」という詩を朗読いただき、多文化社会に生きる私たちがこれからどのように多様な他者のことを思って行動していくべきなのかを考える場面もありました。世界の現状や課題について理解を深められたとともに、国際協力を考える上で大切な心構えというのを教えていただきました。

これからも大通高校で国際協力について考える機会がありますので、生徒には積極的に海外に目を向けて色々な活動、経験をしていってほしいと思います。



午前部 (ウズベキスタン)



午後部 (ブラジル)



夜間部 (スリランカ)

講演の様子